

令和5年度 学校図書館基本計画・評価シート

足立区立栗島小学校 校長 淵脇 薫

1 学校教育目標

- ① かしこく：自ら考え、正しく判断し、新しさを自由に求める創造性豊かな子
- ② やさしく：友達のよさを認め温かい心で接し、互いに励ます子
- ③ しなやかな子：心身ともに健康で正義感と責任をもち、自分の力で柔軟に対応する子

2 学校図書館の目標・ねらい ー身に付けさせたい資質・能力、意欲・態度ー

- ① 読書の楽しさ、喜びを味わわせ、豊かな心情と幅広い知識を身に付ける。
- ② 図書館の図書や資料を効果的に活用し、課題解決を図り、主体的な学習態度を育てる。
- ③ 学校図書館及び校内の図書に関わる環境を整え、児童の読書に対する意欲を高める。

3 学校図書館の現状（令和4年度末）

蔵書状況	① 蔵書数 10366冊（蔵書基準冊数7960冊）／蔵書率130%									
	② 新規購入図書469冊／廃棄図書400冊／増減冊数69冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	1%	1%	5%	7%	10%	4%	2%	8%	3%	34%
*国基準	6%	3%	16%	10%	16%	6%	5%	8%	5%	25%
利活用の状況	① 開館時間：授業時 休み時間									
	② 児童一人あたりの年間平均貸出冊数51.3冊（前々年度末：38.1冊）									
	③ 1か月に2冊以上読む児童 79%（前々年度末：77%）									

（令和5年度末）

蔵書状況	① 蔵書数 9889冊（蔵書基準冊数7960冊）／蔵書率124%									
	② 新規購入図書652冊／廃棄図書1239冊／増減冊数587冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	1%	1%	5%	8%	11%	4%	3%	8%	4%	56%
*国基準	6%	3%	16%	10%	16%	6%	5%	8%	5%	25%
利活用の状況	① 開館時間：授業時 休み時間（前年度からの変更ありなし）									
	② 児童一人あたりの年間平均貸出冊数 53冊（前年度末：51.3冊）									
	③ 1か月に2冊以上読む児童 74%（前年度末：79%）									

4 目標達成に向けた今年度の重点指導事項・具体的取り組み

第1学年	①読みやすい読み物に興味をもち、楽しんで読書しようとする意欲を育てる。 ②学校図書館の利用の仕方を知り、きまりを守って利用する態度を育てる。	
今年度の成果目標	① 学校図書館を使う授業により、本を手にする機会を増やす。 ② 学校図書館の本を利用し、読書をする経験を重ねる。 ③ 学校図書館の利用の仕方や本の扱い方、本の並び方について知る。	達成基準 ①週1回以上、読書等の授業を学校図書館で行う。 ②読書旬間を利用して、年間一人あたり100冊以上の本を読む。 ③読書感想文コンクールと調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合が90%。
目標達成状況		

- ①週 1 回、図書館で読書活動（読み聞かせ、読書、本の貸出、返却等）を行ったり、教科書関連図書やおすすめの本を紹介したりして本を手にする機会を増やすことができた。
- ②児童一人当たりの年間読書冊数は、110冊だった。図書の時間には毎週3冊借り、その他の本も手に取って読むことができていた。
- ③読書感想文コンクールと調べる学習コンクールへの参加率は100%で、学校図書館を活用した探求活動や表現方法を身に着けることができた。

第2学年	<ul style="list-style-type: none"> ① いろいろな読み物に興味をもち、楽しんで読書しようとする態度を育てる。 ②学校図書館の利用の仕方を知り、きまりを守って利用する態度を育てる。
-------------	--

今年度の成果目標	達成基準
<ul style="list-style-type: none"> ① 自分の興味のある本や読み聞かせや本の紹介を参考にして、いろいろな本に興味をもち、読書することができる。 ② 図鑑や科学的な読み物を使い、自分の知りたいことを見付けることができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方を守りながら、課題に対し進んで調べようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 週1回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 読書旬間を利用して、年間一人あたり100冊以上の本を読む。 ③ 読書感想文コンクールと調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合が90%

目標達成状況	
<ul style="list-style-type: none"> ①週 1 回、図書館で読書活動（読み聞かせ、読書、本の貸出、返却等）を行ったり、教科書関連図書やおすすめの本を紹介したりして本を手にする機会を増やすことができた。 ②児童一人当たりの年間読書冊数は、176冊だった。図書の時間には毎週3冊借り、その他の本も手に取って読むことができていた。 ③読書感想文コンクールと調べる学習コンクールへの参加率は100%で、学校図書館を活用した探求活動や表現方法を身に着けることができた。 	

第3学年	<ul style="list-style-type: none"> ①いろいろな読み物に興味をもち、幅広く読書しようとする意欲を育てる。 ②きまりを守り、進んで学校図書館を利用する態度を養い、資料や情報を集めて活用できる力を育てる。
-------------	---

今年度の成果目標	達成基準
<ul style="list-style-type: none"> ①自分の興味のある本だけでなく、教科書単元関連図書やおすすめ本リストを参考にして、あまり読んだことのないジャンルの本についても読書する意欲を育てる。 ② 辞典や図鑑等から分かったことをまとめることができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方を守りながら、幅広く読書することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 読書旬間を利用して、年間一人あたり80冊以上の本を読む。 ③ 読書感想文コンクールと調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合が90%

目標達成状況	
<ul style="list-style-type: none"> ①週に1回、図書館での読書活動や総合的な学習の時間、理科や社会の学習で探求活動の授業を行った。 ②児童一人当たりの年間読書冊数は、105冊だった。図書の時間には毎週3冊借り、その他の本も手に取って読むことができていた。 ③読書感想文コンクールと調べる学習コンクールへの参加率は100%で、学校図書館を活用した探求活動や表現方法を身に着けることができた。 	

第4学年	<ul style="list-style-type: none"> ① いろいろな読み物に興味をもち、幅広く読書しようとする態度を育てる。 ② きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、多様な資料や情報を収集・活用することができるようにする。
-------------	---

今年度の成果目標	達成基準
<ul style="list-style-type: none"> ① 自分の興味のある本だけでなく、教科書単元関連図書やおすすめ本リストを参考にして、あまり読んだことのないジャンルの本についても読書することができる。 ② 辞典や図鑑等から分かったことをまとめ、説明することができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方を守りながら、幅広く読書することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 読書旬間を利用して、年間一人あたり80冊以上の本を読む。 ③ 読書感想文コンクールと調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合が90%

目標達成状況	
---------------	--

- ①月に2回程度、図書館で読書活動や総合的な学習の時間で探求活動の授業を行った。
- ②児童一人当たりの年間読書冊数は、51冊だった。図書の間には毎週3冊借り、その他の本も手にとって読むことができた。
- ③読書感想文コンクールと調べる学習コンクールへの参加率は100%で、学校図書館を活用した探求活動や表現方法を身に付けることができた。

第5学年	<ul style="list-style-type: none"> ① 適切な読み物を選び、読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする意欲を育てる。 ② きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、計画的に資料や情報を収集し、適切に活用することができるようにする。
-------------	---

今年度の成果目標	達成基準
<ul style="list-style-type: none"> ① 興味のある事柄について、適切な本や新聞等を選び、読書することができる。 ② 複数の本や新聞等から分かったことをまとめることができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方について、より利用しやすい方法について考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 月1回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 年間一人あたり50冊以上の本を読む。 ③ 読書感想文コンクールと調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合が90%。

目標達成状況

- ①月に2回程度、図書館で読書活動や総合的な学習の時間で探求活動の授業を行った。
- ②児童一人当たりの年間読書冊数は、50冊だった。
- ③読書感想文コンクールと調べる学習コンクールへの参加率は100%で、学校図書館を活用した探求活動や表現方法を身に付けることができた。

第6学年	<ul style="list-style-type: none"> ① 適切な読み物を選び、読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする態度を育てる。 ② きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、計画的に資料や情報を収集し、適切に活用することができるようにする。
-------------	---

今年度の成果目標	達成基準
<ul style="list-style-type: none"> ①興味のある事柄について、適切な本や新聞等を選び、読書することができる。 ② 複数の本や新聞等から分かったことをまとめ、説明することができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方について、より利用しやすい方法について考え、友達に伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 月1回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 年間一人あたり50冊以上の本を読む。 ③ 読書感想文コンクールと調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合が90%。

目標達成状況

- ①月に2回程度、図書館で読書活動や総合的な学習の時間で探求活動の授業を行った。
- ②児童一人当たりの年間読書冊数は、47冊だった。
- ③読書感想文コンクールと調べる学習コンクールへの参加率は100%で、学校図書館を活用した探求活動や表現方法を身に付けることができた。

5 学校図書館環境整備に関する取組計画・方針及び成果・効果

取組計画・方針	成果・効果
<p>【蔵書・配架等に関すること】 【蔵書・配架等に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 既存の寄贈本や新規購入図書の受け入れ、登録作業完了は8月中を目指す。 ② 廃棄図書を早期に確定させ、蔵書構成を念頭においた新規図書購入計画を作成する。 ③ 学級文庫の整備を春休み中に行い、全クラス100～150冊の本を設置する。年に2回程度学級文庫の取り換え作業を行う。(学年内で学級文庫の入れ替え) 	<ul style="list-style-type: none"> ①新規購入図書の受け入れについて、7月10月と2回に分け、12月には全て完了した。 ②10月に廃棄図書の選定を行い、2月に廃棄を行った。 ③学級文庫の整備を行い、全クラス年間100冊の本を設置し、年2回学級文庫の取り換え作業を行った。
<p>【学校図書館支援員との連携・協働】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 学校図書館オリエンテーションの実施やブックトーク等、支援員の積極的な連携・協働に取り組む。 ② 調べ学習をはじめ、授業に必要な教材や資料について積極的に支援員への相談や情報交換を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ①年度初めにオリエンテーションを実施したり図書館利用の際は、読み聞かせを行ったりすることができた。 ②調べ学習時に必要なレファレンス対応を依頼し、学校図書館を活用した学習活

<p>③ 月に1回、業務計画会議を開き、図書館の活用について話し合う時間を設ける。</p> <p>④ 月に1回、放送によるブックトークや読み聞かせを実施する。</p> <p>⑤ 年に4回、季節のおすすめ本紹介カードを作成し、全校に配布する。</p>	<p>動をスムーズに実施することができた。</p> <p>③月に1回、業務計画を開き担当と支援員で次月の予定等を話し合いながら実施した。</p> <p>④週に2回、放送による読み聞かせを実施することができた。</p> <p>⑤季節の行事や学校行事に合わせておすすめの本を紹介したり展示したりしていた。</p>
<p>【その他】</p> <p>① 年間を通して、全校で利用目標冊数を2万5千冊と設定する。</p> <p>② 休み時間中も、図書室を開放し、図書委員による貸し出しを行う。</p> <p>③ 夏休みや冬休み、読書旬間などの期間中は、貸し出し冊数を一人3冊から5冊までとする。夏休み中に本の貸し出し日を設ける。</p>	<p>①年間読書冊数は、2万5千冊を超えた。</p> <p>②20分休み、昼休みは図書室を開放し貸し出しを行った。</p> <p>③夏休みや冬休みには貸し出し冊数を増やした。また、7月と11月に読書旬間を設け、貸し出し冊数を増やすだけでなく、スタンプラリーや図書委員が考えたクイズを行ったりしおりや読書通帳を配布したりした。</p>

6 学校図書館運営全体に関する自己評価（成果・課題・改善の方向性等）

学校図書館支援員と連携を図りながら、読書活動の推進に取り組むことができた。今年度も昨年度同様、週に2回お昼の放送で図書館支援員による読み聞かせを行った。また、休み時間は図書委員を配置し、図書委員会では読書旬間のイベントを考え、スタンプラリー、各学年への本の内容のクイズ、しおりや読書通帳のプレゼントなどの計画を立て、実施した。その効果もあり多くの児童が図書室を利用し本を読んだり手に取ってみたりする姿が見られた。また、全校児童で図書館を使った調べる学習コンクールに参加したことにより探求活動としての図書室の利用が増えた。

7 学校図書館の取り組みに対する評価・要望等（学校関係者から）

今年度も図書ボランティアの募集をし、6名の方が図書整備や装飾を行った。